「対話的議論の自動評価研究」に関する研究協力のお願い

　会議などの意思決定を有する議論の場において、発言内容を評価し、フィードバックすることは、発言者の議論能力の向上につながりますが、発言内容を一つ一つ評価することは評定者に負担がかかるため、近年対話的議論の自動評価が期待されています。そこで、「対話的議論の自動評価研究」に向けたデータを収集します。

　本研究の目的は、収集したデータから計算機による自動評価モデルを構築することです。また、発言内容と評価の相関関係を調査します。

回答内容は、PMのスピーチに対してLOのスピーチ（反論と立論）をテキストで作成していただくもので、回答に要する時間は約10分です。研究の趣旨をご理解いただき、調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

研究協力にあたり、以下の内容をご確認下さい。

* 研究への協力は皆様の自由意志に基づくものであり、本調査にご協力いただけない場合でも不利益を受けることはありません。
* ご記入いただいた回答を提出しないことで、協力を取りやめることができます。回答の提出を持って研究に同意されたといたします。
* 収集したデータは＊＊＊において公開いたします。
* 研究の成果は、個人が特定されない形（例えば、元データに名前などの個人情報が入っていればその部分は公表しないようにする）で学会や論文掲載誌等で発表されることがあります。

研究責任者　中川 智皓

大阪府立大学 工学研究科 准教授

一般社団法人パーラメンタリーディベート人財育成協会 代表理事